



標葉 隆馬

大阪大学・社会技術共創研究センター准教授、
日本学術会議「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する
国際会議 2024 分科会」副委員長、
日本学術会議若手アカデミー副代表

【略歴】

京都大学農学部応用生命科学科卒業後、2011年3月に京都大学大学院生命科学研究科博士課程修了(博士(生命科学))。総合研究大学院大学先導科学研究科・助教、成城大学文芸学部・准教授を経て、2020年4月より現職。専門は科学技術社会論・科学技術政策論。科学技術の倫理的・法的・社会的課題(Ethical, Legal, and Social Issues: ELSI)の可視化、メディア分析、コミュニケーションデザイン、政策分析などを組み合わせながら、複数の先端科学技術に関わる責任ある研究・イノベーション(Responsible Research and Innovation: RRI)のプロジェクトをPIとして幅広く研究・実践中。主著に『責任ある科学技術ガバナンス概論』(ナカニシヤ出版 2020)、ほか論文多数。